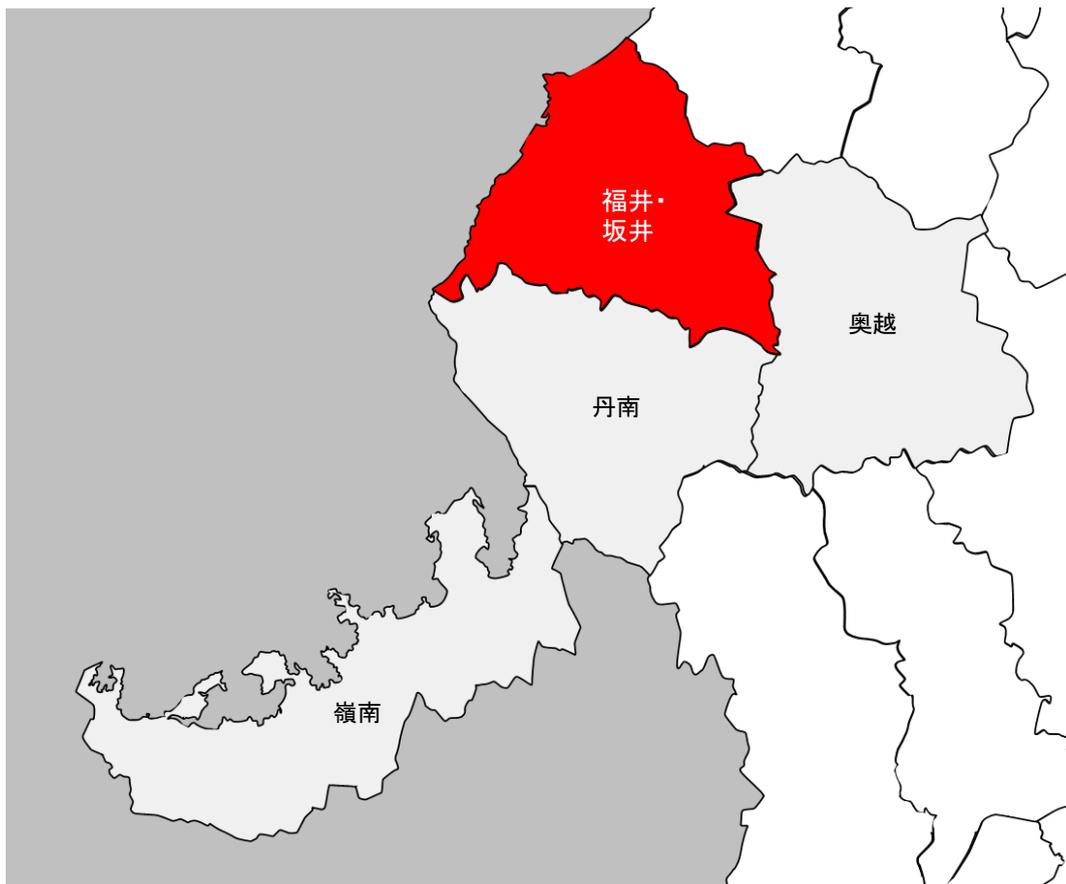


# 18. 福井県

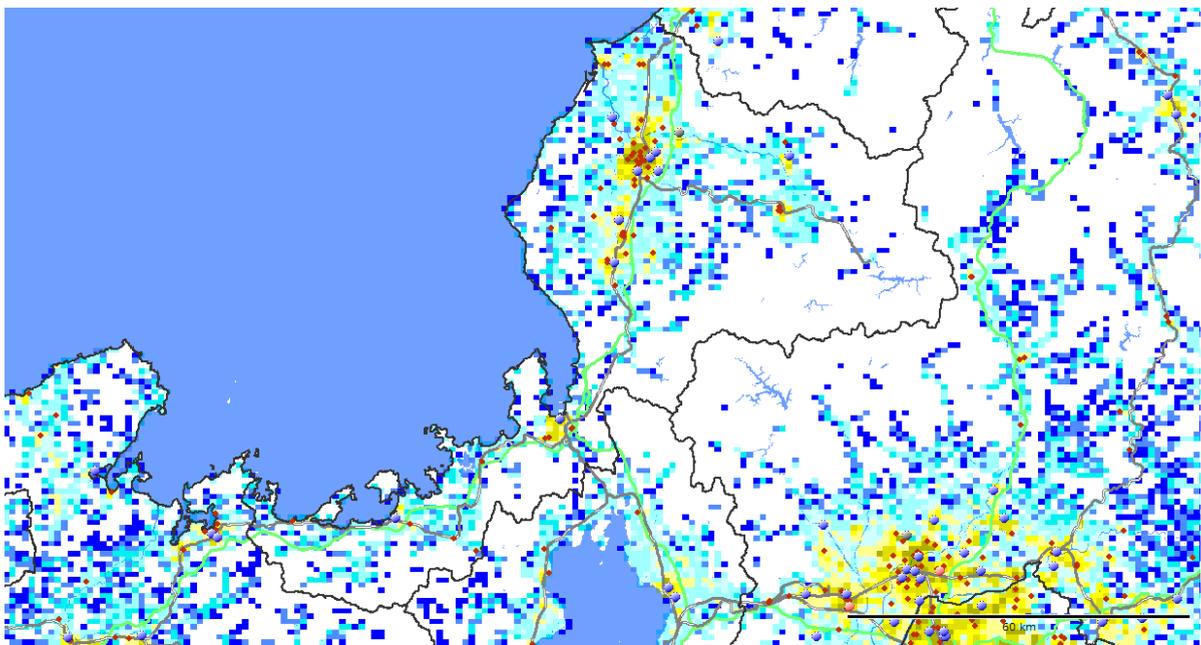


目次

福井県	18	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	18	-	8
1. 福井・坂井医療圏	18	-	20
2. 奥越医療圏	18	-	25
3. 丹南医療圏	18	-	30
4. 嶺南医療圏	18	-	35

# 18. 福井県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (福井県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 福井県は、総人口約787千人(2015年)、面積4,190km<sup>2</sup>、人口密度は188人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 福井県の総人口は2025年に738千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に647千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の115千人が、2025年にかけて141千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には145千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 福井県の一人当たり医療費(国保)は389千円(偏差値57)、介護給付費は284千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 福井県の一人当たり急性期医療密度指数は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数は1.12で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が50(病院医師数52、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 福井県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11,988人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が8,434床(偏差値59)、高齢者住宅等が3,554床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10,224人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム40、軽費ホーム57、グループホーム46、サ高住48である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、865人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

福井県の総人口は、2005年821,592人が、2015年に786,740人と4%減少し、2025年の人口が737,898人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

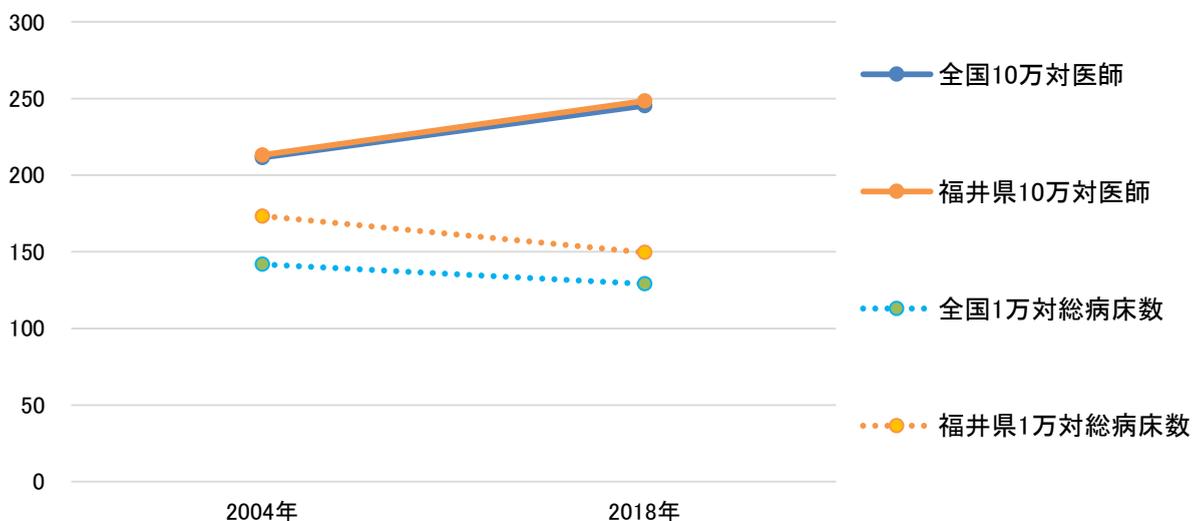
2004年の病院数が88(人口10万人当たり10.7病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2018年に67(人口10万人当たり8.5病院(全国平均6.6)偏差値55)となり、14年間で21病院が減少した。

2004年の診療所数が564(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2018年に575(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、11診療所が増加した。

2004年の総病床数が14,242床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2018年に11,768床(人口1万人当たり150(全国平均129)偏差値54)と、2,474床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

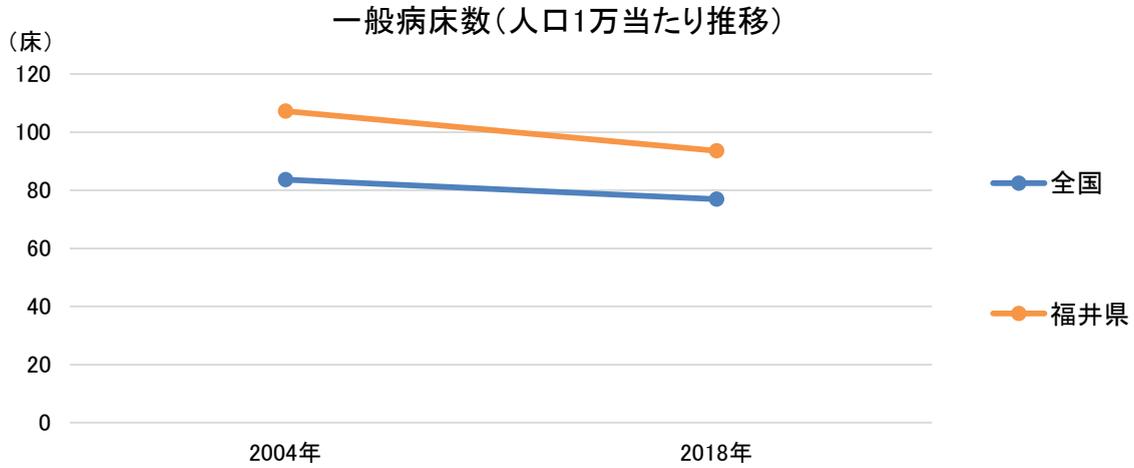
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,752人(人口10万人当たり213人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2018年に1,955人(人口10万人当たり248人(全国平均245人)偏差値50)と、203人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



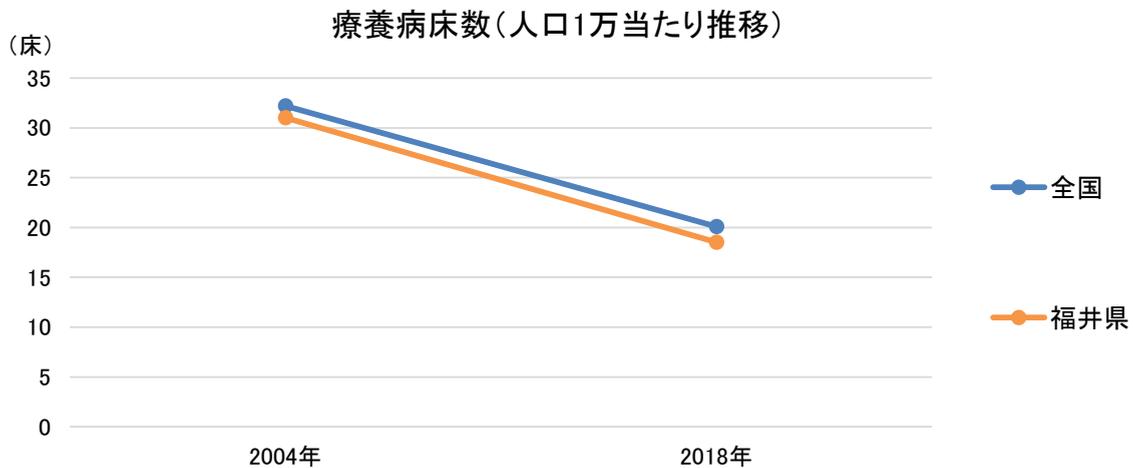
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が8,810床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2018年に7,364床(人口1万人当たり94(全国平均77)偏差値56)と、1,446床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



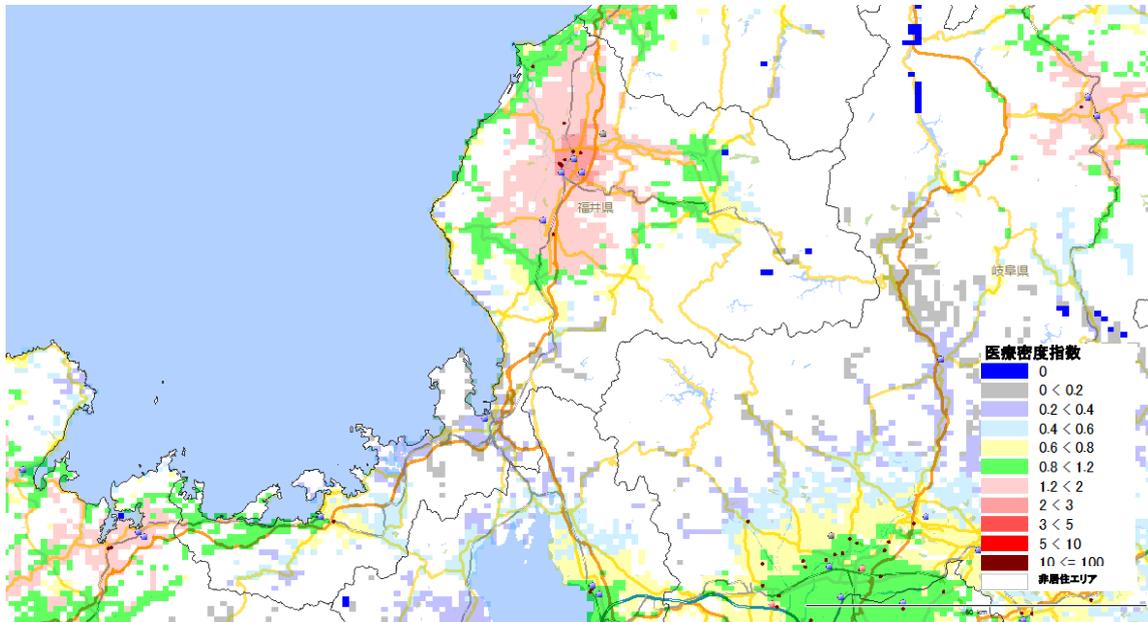
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,883床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2018年に2,135床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均20)偏差値49)と、748床の減少、率にして26%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



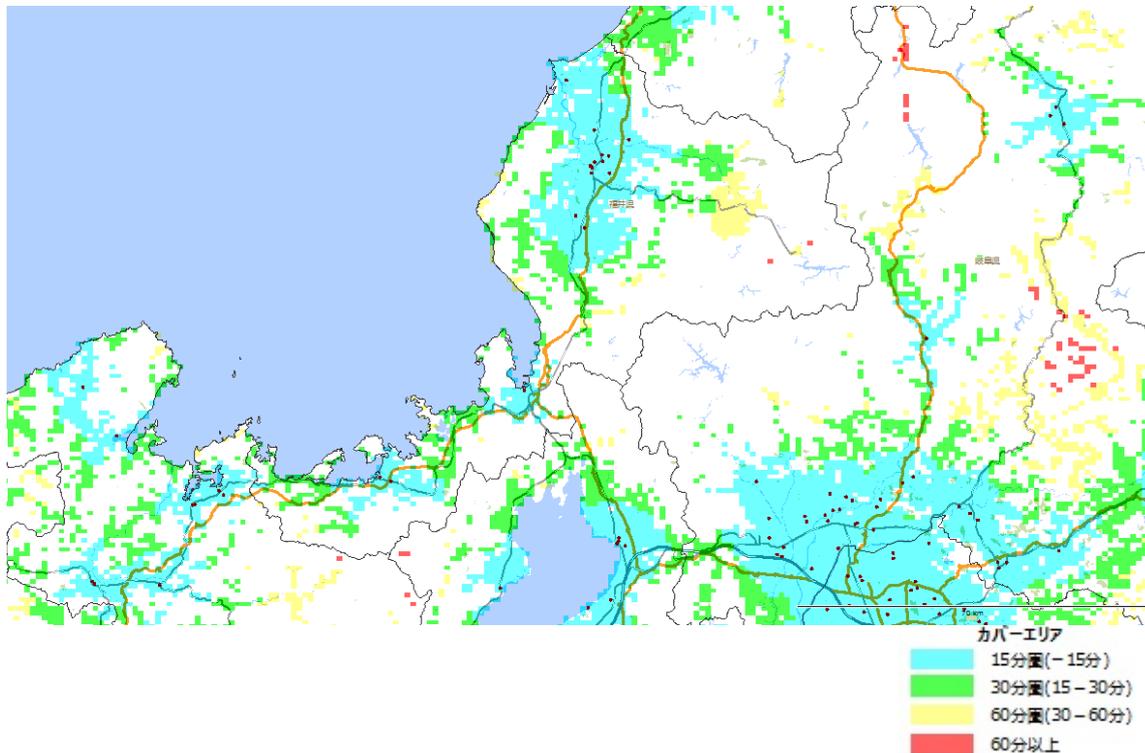
## (福井県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表18-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 18-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
福井県	787	43位	4,190	34位	187.7		29%	738	647	115	141	145	-6%	-12%	23%	3%
福井・坂井	405	51%	957	23%	422.8	地方都市型	28%	389	354	57	73	76	-4%	-9%	28%	4%
奥越	57	7%	1,126	27%	50.8	過疎地域型	34%	50	39	11	12	11	-12%	-22%	9%	-8%
丹南	185	24%	1,007	24%	183.5	過疎地域型	28%	172	148	27	32	33	-7%	-14%	19%	3%
嶺南	140	18%	1,100	26%	127.2	過疎地域型	29%	127	106	21	25	25	-9%	-17%	19%	0%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資\_図表 18-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
福井県	1.16	1.12	10,920	11,617	-6.4%
福井・坂井	1.47	0.56	5,723	5,953	-4.0%
奥越	0.82	1.07	1,058	941	11.0%
丹南	0.93	0.84	2,476	2,706	-9.3%
嶺南	0.75	1.10	1,663	2,017	-21.3%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) ) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資\_図表 18-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
福井県	389	57	1.033	166	59	1.132	202	55	0.990	284	59
福井・坂井	387	57	1.034	162	58	1.111	203	56	1.002	285	59
奥越	395	59	1.015	163	58	1.075	212	62	1.008	292	61
丹南	386	57	1.025	169	60	1.153	197	53	0.967	275	56
嶺南	392	58	1.037	172	61	1.169	200	54	0.974	289	60
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 18-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
福井県	912	49	0.972	501	54	1.046	388	39	0.912
福井・坂井	961	53	1.016	521	55	1.085	414	46	0.959
奥越	908	48	0.973	483	52	1.010	405	44	0.963
丹南	856	44	0.915	480	51	1.005	353	30	0.835
嶺南	857	44	0.917	483	52	1.010	354	31	0.838
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 18-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
福井県	67	0.8%	8.5	55	575	0.6%	73	46
福井・坂井	34	51%	8.4	55	329	57%	81	50
奥越	6	9%	10.5	60	36	6%	63	41
丹南	17	25%	9.2	57	109	19%	59	39
嶺南	10	15%	7.1	51	101	18%	72	46
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 18-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
福井県	575	0.6%	73	46	511	0.5%	65	45	64	0.9%	8.1	55
福井・坂井	329	57%	81	50	291	57%	72	48	38	59%	9.4	57
奥越	36	6%	63	41	32	6%	56	40	4	6%	7.0	53
丹南	109	19%	59	39	93	18%	50	37	16	25%	8.7	56
嶺南	101	18%	72	46	95	19%	68	46	6	9%	4.3	48
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 18-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
福井県	10,723	0.7%	1,363	53	1,045	1.1%	133	56	11,768	0.7%	1,496	54
福井・坂井	6,338	59%	1,566	57	613	59%	151	58	6,951	59%	1,717	58
奥越	546	5%	954	44	72	7%	126	56	618	5%	1,080	46
丹南	1,926	18%	1,042	46	260	25%	141	57	2,186	19%	1,183	48
嶺南	1,913	18%	1,367	53	100	10%	71	50	2,013	17%	1,439	53
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 18-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
福井県	6,450	0.7%	820	55	2,004	0.6%	255	50	2,206	0.7%	280	51
福井・坂井	4,215	65%	1,041	65	899	45%	222	49	1,192	54%	294	52
奥越	302	5%	528	42	109	5%	190	47	135	6%	236	49
丹南	922	14%	499	41	610	30%	330	54	378	17%	205	47
嶺南	1,011	16%	723	51	386	19%	276	51	501	23%	358	55
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 18-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
福井県	440	0.5%	56	48	972	1.2%	124	59
福井・坂井	294	67%	73	52	521	54%	129	59
奥越	41	9%	72	52	0	0%	0	41
丹南	105	24%	57	49	267	27%	144	62
嶺南	0	0%	0	36	184	19%	131	60
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資\_図表 18-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
福井県	4,605	3,932	183	5,941	2,470	1,707	61.4%	56	9.7%	52
福井・坂井	2,896	2,529	0	3,323	1,652	833	60.5%	56	0.0%	48
奥越	199	195	0	335	103	97	65.4%	58	0.0%	48
丹南	234	230	0	1,646	682	574	25.2%	43	0.0%	48
嶺南	1,276	978	183	637	33	203	96.7%	70	47.4%	69
出典	地方厚生局指定一覽令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 18-11 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数				分娩 件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
福井県	14,160	0.6%	1,800	51	5,532	0.6%	703	49
福井・坂井	12,492	88%	3,086	66	4,080	74%	1,008	61
奥越	264	2%	461	34	0	0%	0	22
丹南	672	5%	364	33	660	12%	357	36
嶺南	732	5%	523	35	792	14%	566	44
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 18-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
福井県	1,955	0.6%	248	50	1,423	0.7%	181	52	532	0.5%	68	44
福井・坂井	1,441	74%	356	62	1,112	78%	275	65	329	62%	81	50
奥越	70	4%	122	37	42	3%	73	38	28	5%	49	36
丹南	217	11%	117	36	114	8%	62	36	103	19%	56	39
嶺南	227	12%	162	41	155	11%	111	43	72	14%	51	37
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 18-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
福井県	201	0.7%	25.5	52	85	0.6%	10.8	50	69	0.6%	8.8	50
福井・坂井	158	79%	39.0	64	66	78%	16.3	61	54	78%	13.3	61
奥越	6	3%	10.5	39	2	2%	3.5	35	3	4%	5.2	41
丹南	18	9%	9.7	38	6	7%	3.2	34	6	9%	3.2	36
嶺南	19	9%	13.6	42	11	13%	7.9	43	6	9%	4.3	39
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 18-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
福井県	32	0.6%	4.1	48	57	0.6%	7.2	48	60	0.8%	7.6	56
福井・坂井	24	75%	5.9	56	41	72%	10.1	57	40	67%	9.9	64
奥越	1	3%	1.7	38	3	5%	5.2	42	3	5%	5.2	47
丹南	4	13%	2.2	39	9	16%	4.9	41	10	17%	5.4	48
嶺南	3	9%	2.1	39	4	7%	2.9	35	7	12%	5.0	47
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 18-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
福井県	45	0.5%	5.7	45	146	0.7%	18.6	52	118	0.7%	15.0	54
福井・坂井	31	69%	7.7	50	103	71%	25.4	62	87	74%	21.5	68
奥越	3	7%	5.2	44	5	3%	8.7	38	5	4%	8.7	40
丹南	5	11%	2.7	37	18	12%	9.7	39	13	11%	7.0	37
嶺南	6	13%	4.3	41	20	14%	14.3	46	13	11%	9.3	41
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 18-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
福井県	46	0.7%	5.8	54	51	0.7%	6.5	54	50	0.8%	6.4	55
福井・坂井	36	78%	8.9	68	34	67%	8.4	62	41	82%	10.1	67
奥越	2	4%	3.5	44	3	6%	5.2	49	1	2%	1.7	41
丹南	4	9%	2.2	38	7	14%	3.8	43	4	8%	2.2	42
嶺南	4	9%	2.9	41	7	14%	5.0	48	4	8%	2.9	44
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 18-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
福井県	43	0.6%	5.5	49	6	0.4%	0.8	44	39	0.9%	5.0	58
福井・坂井	35	81%	8.6	59	6	100%	1.5	52	31	79%	7.7	70
奥越	1	2%	1.7	38	0	0%	0	37	0	0%	0	34
丹南	3	7%	1.6	37	0	0%	0	37	3	8%	1.6	42
嶺南	4	9%	2.9	41	0	0%	0	37	5	13%	3.6	51
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

18.福井県(2019年版)

資\_図表 18-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
福井県	9	0.4%	1.1	45	15	0.5%	1.9	48
福井・坂井	9	100%	2.2	54	11	73%	2.7	54
奥越	0	0%	0	36	1	7%	1.7	47
丹南	0	0%	0	36	3	20%	1.6	46
嶺南	0	0%	0	36	0	0%	0	35
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 18-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
福井県	8,041	0.7%	1,022	54	6,524	0.7%	829	54	1,516	0.7%	193	52
福井・坂井	5,250	65%	1,297	64	4,374	67%	1,081	65	876	58%	216	55
奥越	324	4%	567	38	240	4%	419	37	85	6%	148	46
丹南	1,306	16%	707	43	973	15%	526	42	333	22%	180	50
嶺南	1,161	14%	830	48	938	14%	670	48	223	15%	159	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 18-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
福井県	984	0.7%	125	53	1,466	0.5%	186	44
福井・坂井	597	61%	148	57	939	64%	232	49
奥越	49	5%	85	46	75	5%	131	39
丹南	210	21%	113	51	235	16%	127	39
嶺南	129	13%	92	47	217	15%	155	41
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 18-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
福井県	56	0.4%	0.5	41	11	0.7%	0.1	51	101	0.9%	0.9	57
福井・坂井	35	63%	0.6	44	5	45%	0.1	50	46	46%	0.8	55
奥越	4	7%	0.4	38	2	18%	0.2	63	6	6%	0.6	44
丹南	10	18%	0.4	38	3	27%	0.1	53	21	21%	0.8	54
嶺南	7	13%	0.3	37	1	9%	0.0	44	28	28%	1.3	77
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資\_図表 18-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
福井県	11,988	0.7%	104	49	8,434	0.8%	73	59	3,554	0.5%	31	42
福井・坂井	6,381	53%	113	54	4,103	49%	72	59	2,278	64%	40	48
奥越	1,125	9%	106	50	941	11%	89	72	184	5%	17	33
丹南	2,644	22%	99	46	1,948	23%	73	59	696	20%	26	39
嶺南	1,838	15%	86	38	1,442	17%	67	55	396	11%	19	34
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 18-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
福井県	3,088	0.8%	27	57	4,902	0.8%	42	57	444	0.9%	3.8	52
福井・坂井	1,361	44%	24	52	2,577	53%	45	60	165	37%	2.9	49
奥越	366	12%	34	70	575	12%	54	69	0	0%	0	42
丹南	782	25%	29	61	955	19%	36	50	211	48%	7.9	62
嶺南	579	19%	27	58	795	16%	37	51	68	15%	3.2	50
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 18-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
福井県	456	0.2%	4.0	40	326	1.4%	2.8	57	1,208	0.6%	10.5	46
福井・坂井	340	75%	6.0	42	246	75%	4.3	64	648	54%	11.4	48
奥越	10	2%	0.9	37	0	0%	0	43	87	7%	8.2	42
丹南	106	23%	4.0	40	80	25%	3.0	57	252	21%	9.4	45
嶺南	0	0%	0	36	0	0%	0	43	221	18%	10.3	46
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 18-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
福井県	1,564	0.6%	13.6	48	496	1.9%	4.3	64	1,068	0.5%	9.3	44
福井・坂井	1,044	67%	18.4	55	386	78%	6.8	77	658	62%	11.6	47
奥越	87	6%	8.2	41	20	4%	1.9	52	67	6%	6.3	40
丹南	258	16%	9.7	43	90	18%	3.4	59	168	16%	6.3	40
嶺南	175	11%	8.2	41	0	0%	0	42	175	16%	8.2	43
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 18-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
福井県	1,375	0.8%	11.9	55	911	0.8%	7.9	53	464	0.8%	4.0	55
福井・坂井	665	48%	11.7	55	435	48%	7.7	52	229	49%	4.0	55
奥越	105	8%	9.9	46	79	9%	7.4	51	27	6%	2.5	42
丹南	312	23%	11.7	54	233	26%	8.7	58	79	17%	3.0	46
嶺南	293	21%	13.7	64	164	18%	7.7	52	129	28%	6.0	73
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 18-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
福井県	11,089	0.7%	96	53	10,224	0.8%	89	59	865	0.4%	7.5	39
福井・坂井	5,545	50%	98	55	5,151	50%	91	61	394	46%	7.0	38
奥越	1,006	9%	95	52	927	9%	87	57	79	9%	7.4	39
丹南	2,525	23%	95	52	2,365	23%	89	59	159	18%	6.0	36
嶺南	2,013	18%	94	51	1,781	17%	83	54	232	27%	10.9	45
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 18-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
福井県	3,191	0.3%	28	36	4,374	0.8%	38	53	4,933	0.4%	43	39
福井・坂井	1,618	51%	29	37	1,822	42%	32	49	2,168	44%	38	37
奥越	338	11%	32	38	219	5%	21	41	407	8%	38	37
丹南	705	22%	26	36	987	23%	37	52	802	16%	30	34
嶺南	530	17%	25	36	1,346	31%	63	71	1,556	32%	73	52
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 18-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
福井県		821,592	786,740	-4%	737,898	-10%	7%	2%	9%
福井・坂井	地方都市型	413,307	404,796	-2%	389,464	-6%	10%	5%	15%
奥越	過疎地域型	64,804	57,234	-12%	49,936	-23%	-2%	-4%	-6%
丹南	過疎地域型	194,247	184,783	-5%	171,574	-12%	5%	1%	6%
嶺南	過疎地域型	149,234	139,927	-6%	126,924	-15%	3%	-1%	2%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

18.福井県(2019年版)

資\_図表 18-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
福井県	88	10.7	59	67	8.5	55	-21	-24%
福井・坂井	44	10.6	59	34	8.4	55	-10	-23%
奥越	7	10.8	60	6	10.5	60	-1	-14%
丹南	23	11.8	62	17	9.2	57	-6	-26%
嶺南	14	9.4	56	10	7.1	51	-4	-29%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 18-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
福井県	564	69	46	575	73	46	11	2%
福井・坂井	316	76	50	329	81	50	13	4%
奥越	38	59	41	36	63	41	-2	-5%
丹南	110	57	40	109	59	39	-1	-1%
嶺南	100	67	46	101	72	46	1	1%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 18-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
福井県	1,752	213	50	1,955	248	50	203	12%
福井・坂井	1,193	289	59	1,441	356	62	248	21%
奥越	75	116	39	70	122	37	-5	-7%
丹南	237	122	39	217	117	36	-20	-8%
嶺南	247	166	45	227	162	41	-20	-8%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 18-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
福井県	14,242	173	56	11,768	150	54	-2,474	-17%
福井・坂井	8,314	201	61	6,951	172	58	-1,363	-16%
奥越	849	131	48	618	108	46	-231	-27%
丹南	2,748	141	50	2,186	118	48	-562	-20%
嶺南	2,331	156	53	2,013	144	53	-318	-14%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 18-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
福井県	8,810	107	58	7,364	94	56	-1,446	-16%
福井・坂井	5,428	131	67	4,744	117	66	-684	-13%
奥越	540	83	50	374	65	46	-166	-31%
丹南	1,440	74	47	1,135	61	44	-305	-21%
嶺南	1,402	94	54	1,111	79	51	-291	-21%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 18-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

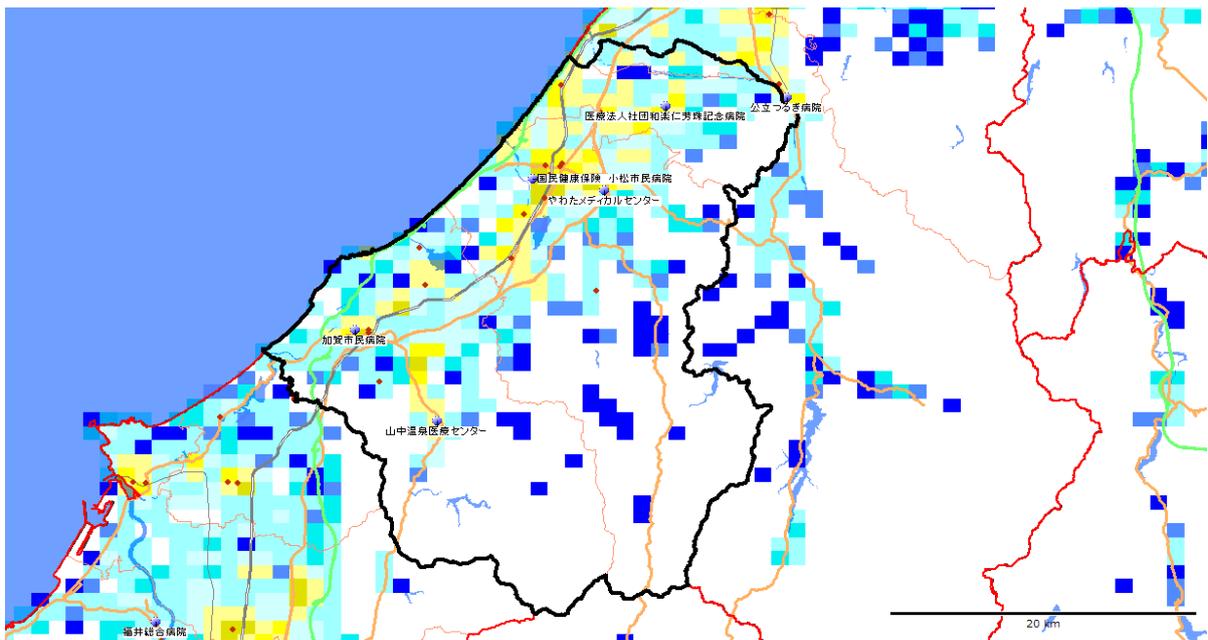
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
福井県	2,883	31	49	2,135	19	49	-748	-26%
福井・坂井	1,469	34	51	983	17	48	-486	-33%
奥越	174	19	42	109	10	41	-65	-37%
丹南	884	40	54	657	25	54	-227	-26%
嶺南	356	20	43	386	18	48	30	8%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

# 18-1. ふくい さかい 福井・坂井医療圏

構成市区町村 [福井市](#)      [あわら市](#)      [坂井市](#)      [永平寺町](#)

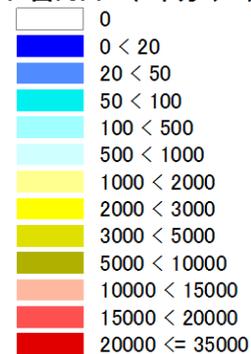
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (福井・坂井医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 福井・坂井(福井市)は、総人口約405千人(2015年)、面積957km<sup>2</sup>、人口密度は423人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 福井・坂井の総人口は2025年に389千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に354千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の57千人が、2025年にかけて73千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には76千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 福井・坂井の一人当たり医療費(国保)は387千円(偏差値57)、介護給付費は285千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

### 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 福井・坂井の一人当たり急性期医療密度指数は1.47、一人当たり慢性期医療密度指数は0.56で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療はかなり少ない。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が62(病院医師数65、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は64と多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は65で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は66と非常に多い。福井・坂井には、年間全身麻酔件数が2000例以上の福井県立病院(Ⅱ群・救命)、福井大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の福井県済生会病院(Ⅲ群)、福井赤十字病院(Ⅲ群)、500例以上の福井総合病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 福井・坂井の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,381人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,103床(偏差値59)、高齢者住宅等が2,278床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,151人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。  
施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム42、軽費ホーム64、グループホーム48、サ高住55である。
- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、394人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- \*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(福井・坂井医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

福井・坂井医療圏の総人口は、2005年413,307人が、2015年に404,796人と2%減少し、2025年の人口が389,464人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

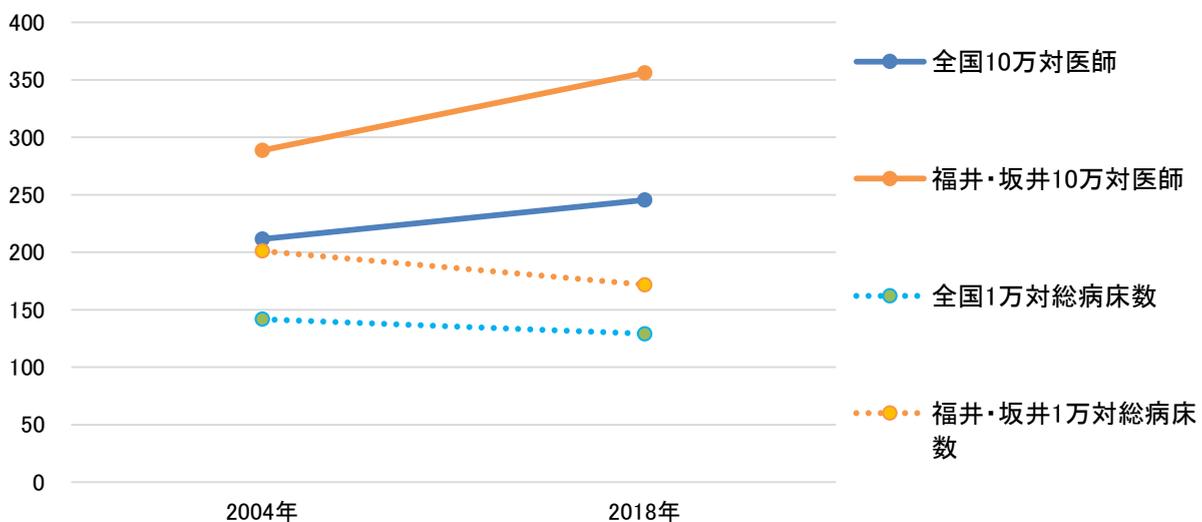
2004年の病院数が44(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2018年に34(人口10万人当たり8.4病院(全国平均6.6)偏差値55)となり、14年間で10病院が減少した。

2004年の診療所数が316(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2018年に329(人口10万人当たり81診療所(全国平均80)偏差値50)と、13診療所が増加した。

2004年の総病床数が8,314床(人口1万人当たり201(全国平均142)偏差値61)であったが、2018年に6,951床(人口1万人当たり172(全国平均129)偏差値58)と、1,363床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

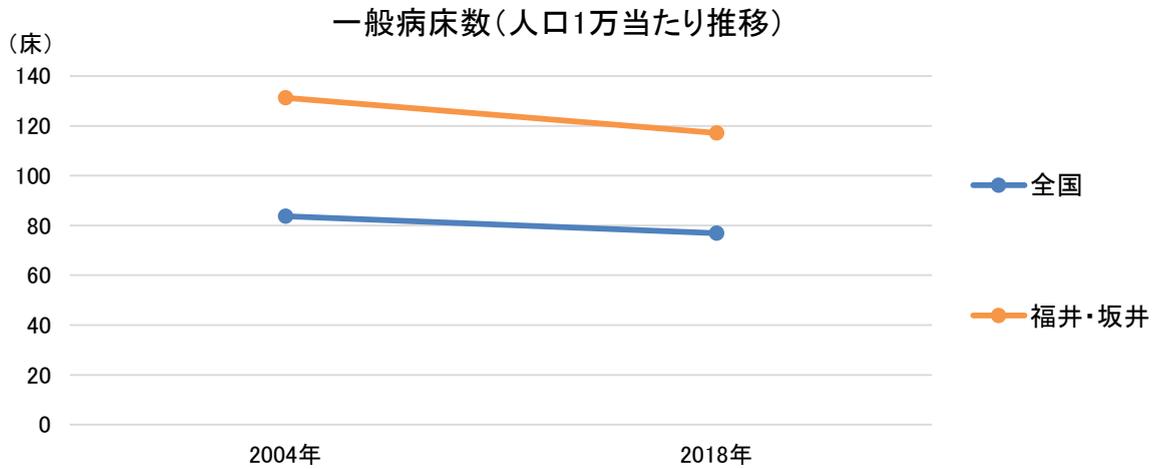
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,193人(人口10万人当たり289人(全国平均212人)偏差値59)であったが、2018年に1,441人(人口10万人当たり356人(全国平均245人)偏差値62)と、248人の増加、率にして21%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



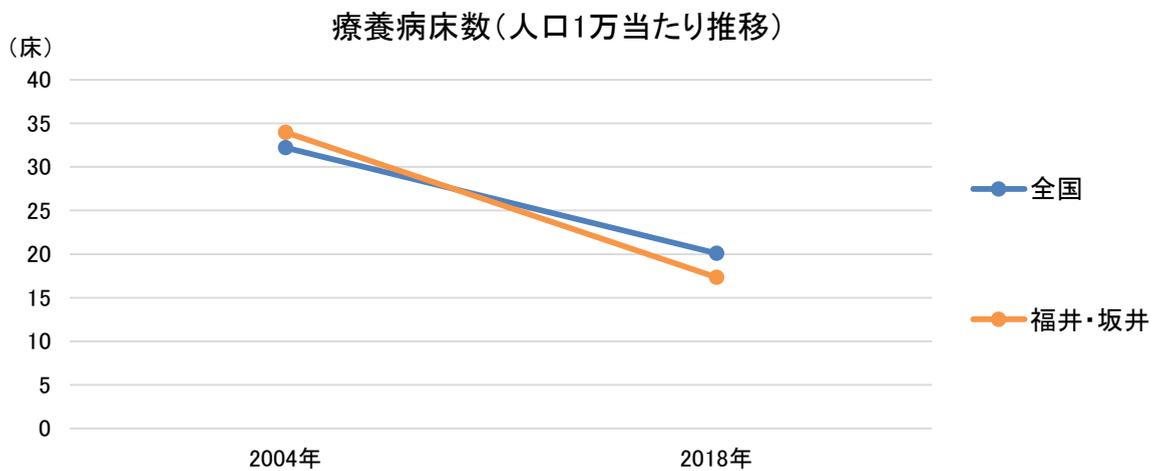
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,428床(人口1万人当たり131(全国平均84)偏差値67)であったが、2018年に4,744床(人口1万人当たり117(全国平均77)偏差値66)と、684床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



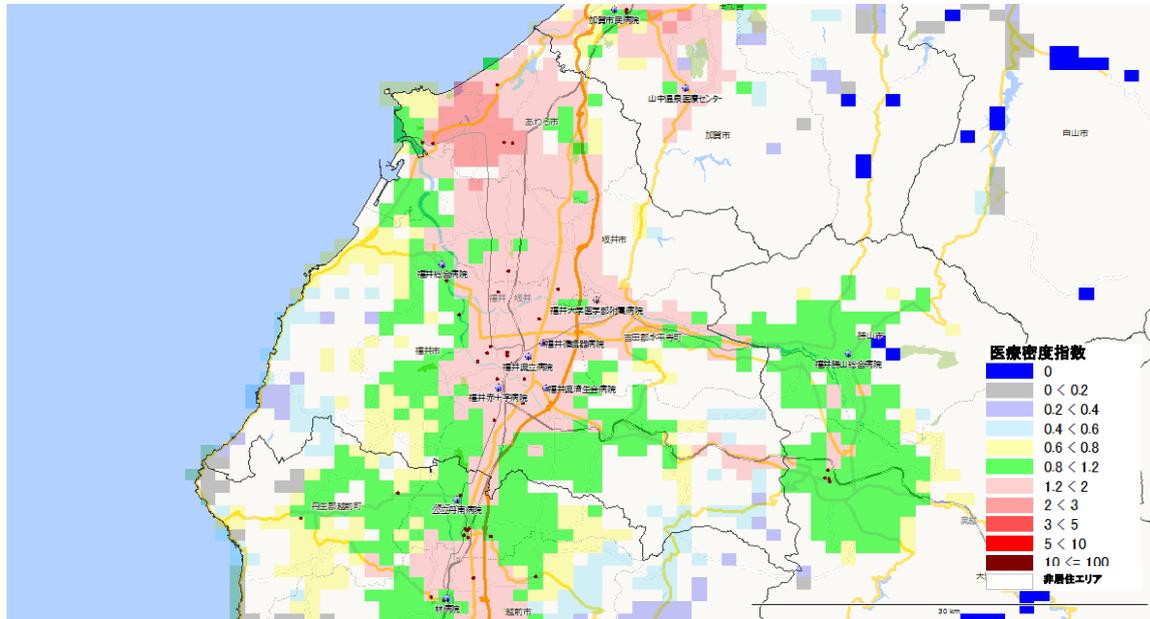
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,469床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2018年に983床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均20)偏差値48)と、486床の減少、率にして33%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



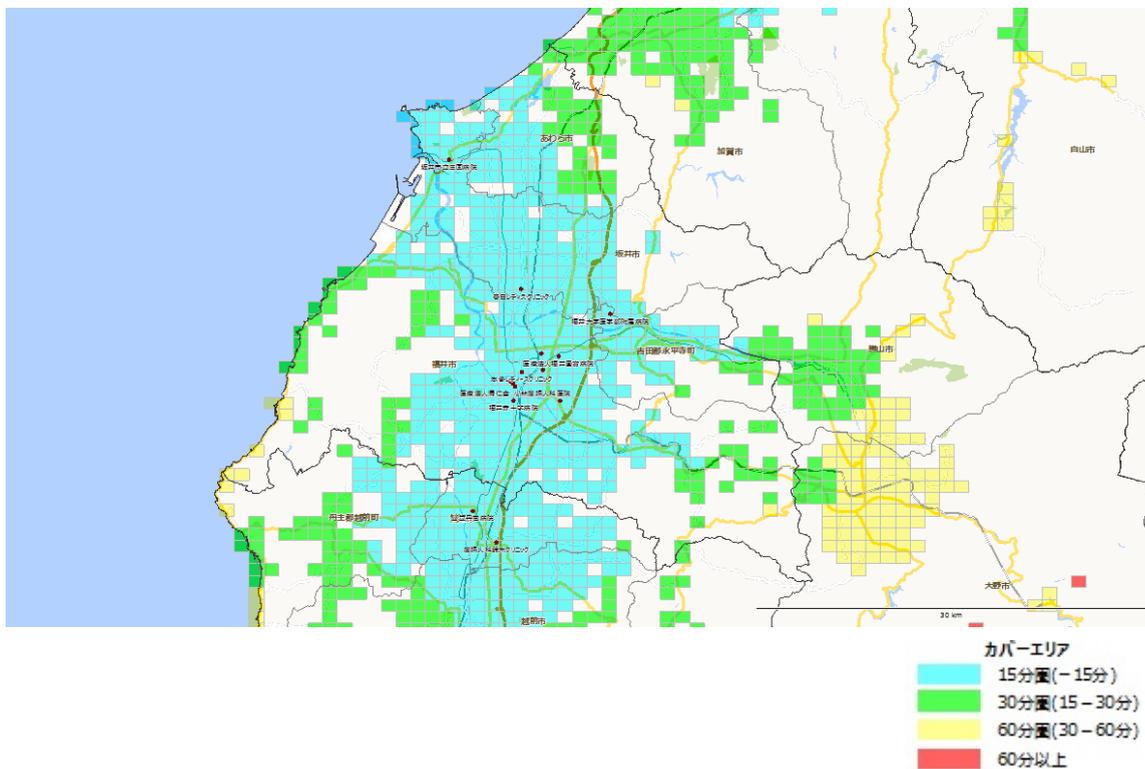
(福井・坂井医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表18-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

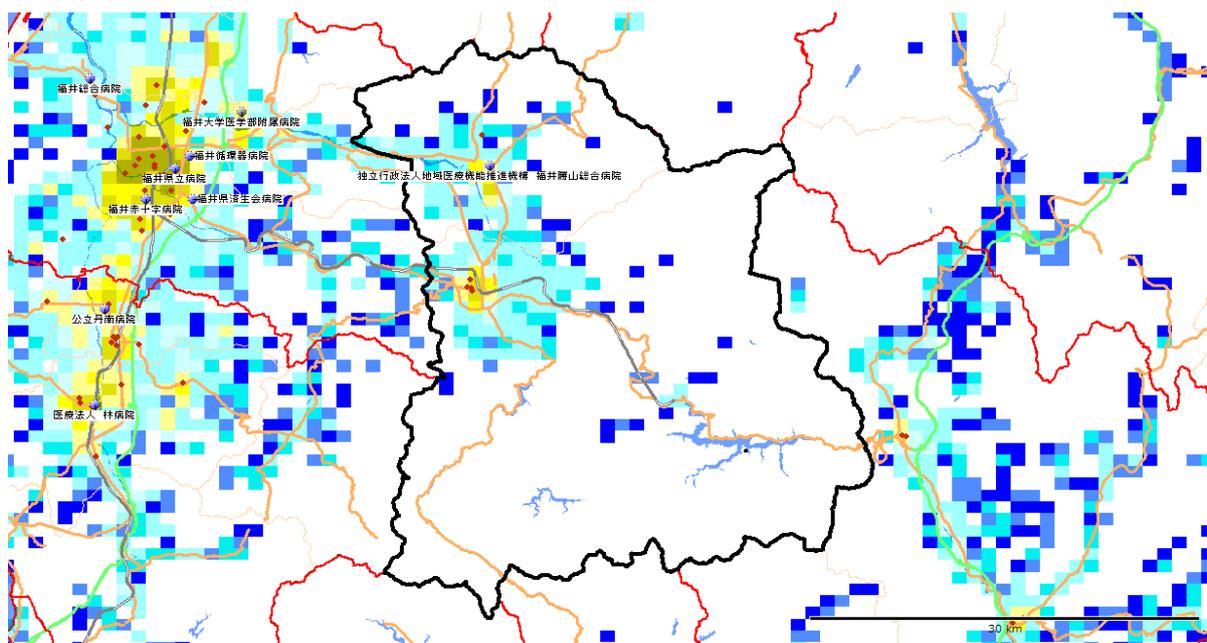


# 18-2. おくえつ 奥越医療圏

構成市区町村 [大野市](#) [勝山市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I群
- II群
- III群

● 一般病院

## (奥越医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 奥越(大野市)は、総人口約57千人(2015年)、面積1,126km<sup>2</sup>、人口密度は51人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 奥越の総人口は2025年に50千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に39千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 奥越の一人当たり医療費(国保)は395千円(偏差値59)、介護給付費は292千円(偏差値61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 奥越の一人当たり急性期医療密度指数は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数は1.07で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が37(病院医師数38、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。奥越には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 奥越の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,125人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が941床(偏差値72)、高齢者住宅等が184床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、927人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設70、特別養護老人ホーム69、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム37、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム42、サ高住41である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値63と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、79人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (奥越医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

奥越医療圏の総人口は、2005年64,804人が、2015年に57,234人と12%減少し、2025年の人口が49,936人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

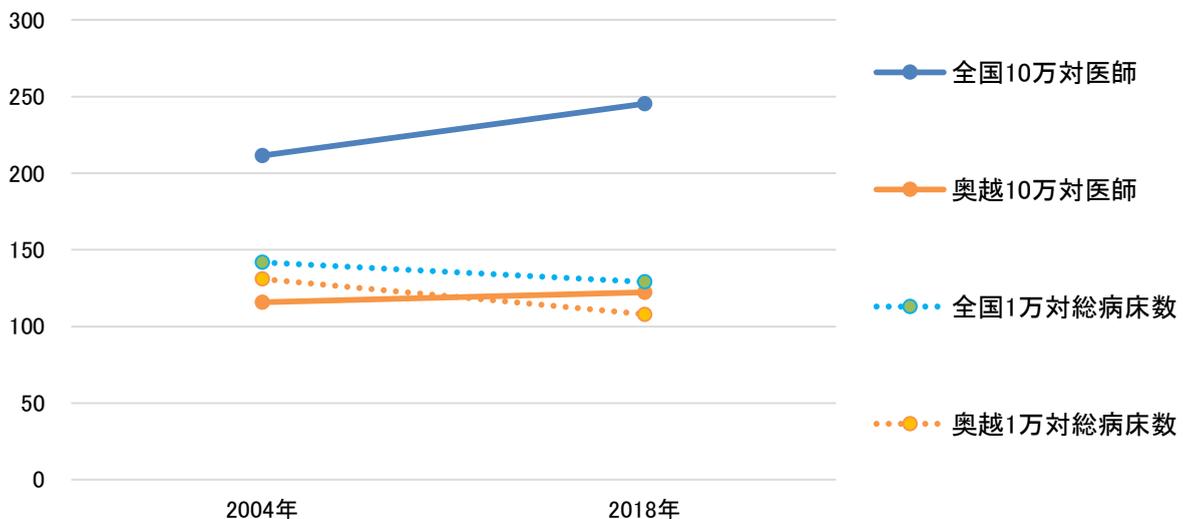
2004年の病院数が7(人口10万人当たり10.8病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2018年に6(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.6)偏差値60)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が38(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2018年に36(人口10万人当たり63診療所(全国平均80)偏差値41)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が849床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2018年に618床(人口1万人当たり108(全国平均129)偏差値46)と、231床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

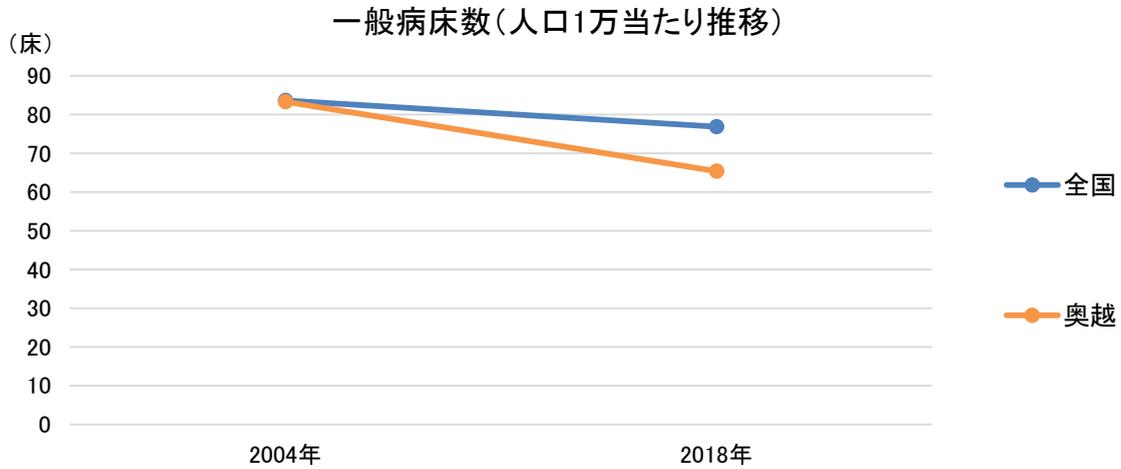
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が75人(人口10万人当たり116人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2018年に70人(人口10万人当たり122人(全国平均245人)偏差値37)と、5人の減少、率にして7%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



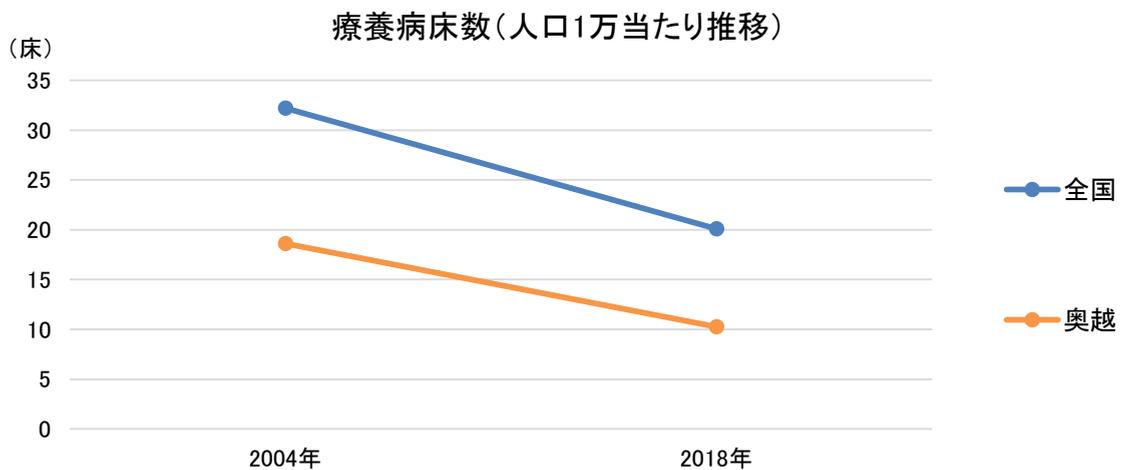
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が540床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2018年に374床(人口1万人当たり65(全国平均77)偏差値46)と、166床の減少、率にして31%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



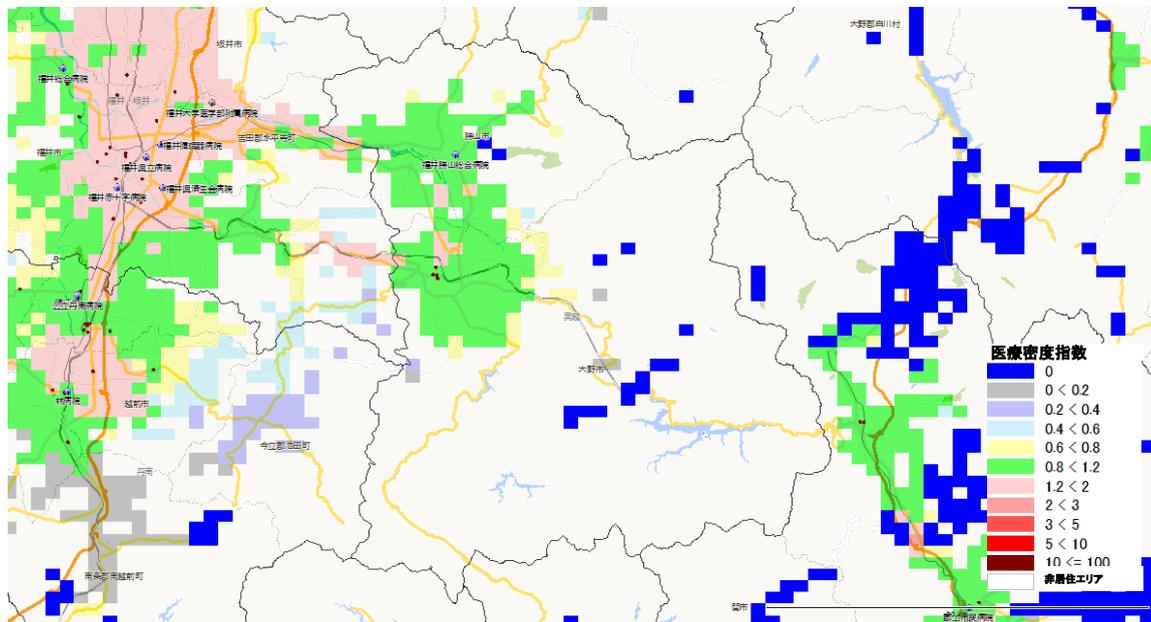
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が174床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値42)であったが、2018年に109床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、65床の減少、率にして37%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



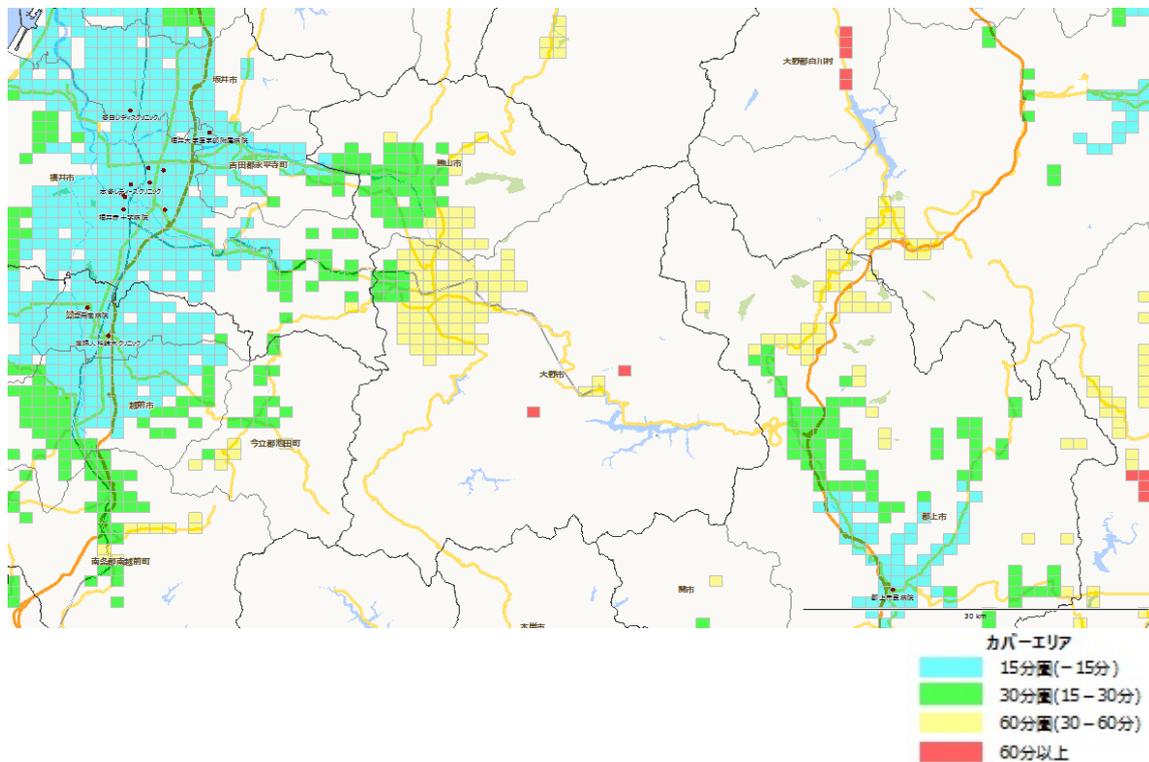
(奥越医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表18-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

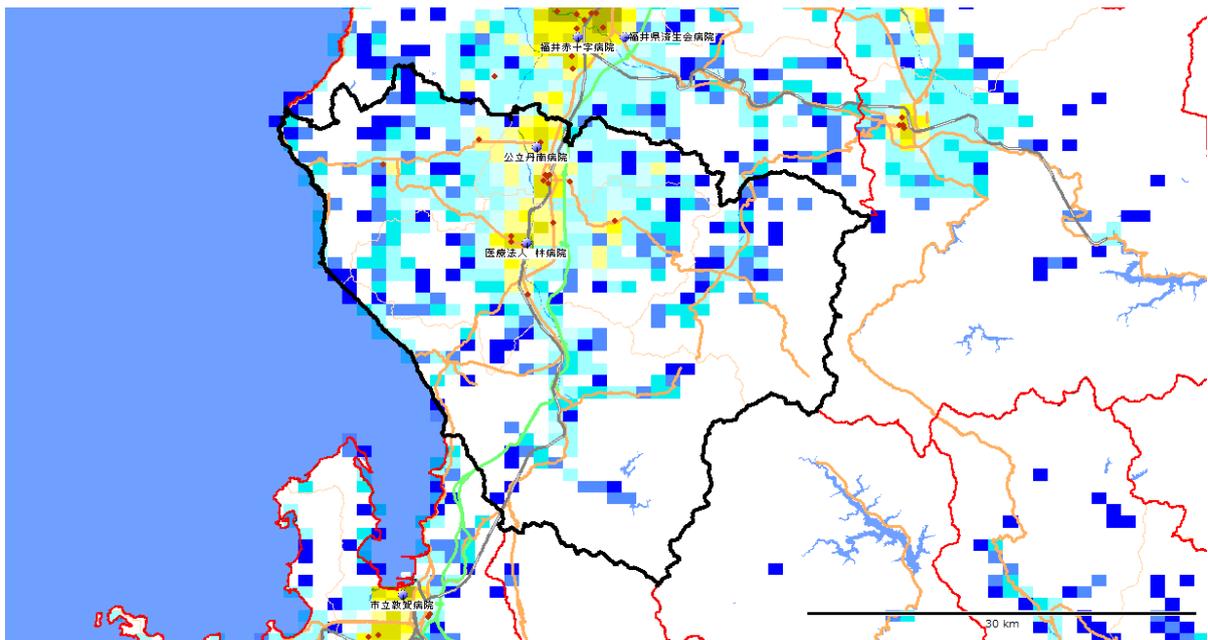


# 18-3. たんなん 丹南医療圏

構成市区町村 [鯖江市](#) [越前市](#) [池田町](#) [南越前町](#)  
[越前町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



## (丹南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 丹南(鯖江市)は、総人口約185千人(2015年)、面積1,007km<sup>2</sup>、人口密度は184人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 丹南の総人口は2025年に172千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に148千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には33千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 丹南の一人当たり医療費(国保)は386千円(偏差値57)、介護給付費は275千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 丹南の一人当たり急性期医療密度指数は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数は0.84で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が36(病院医師数36、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は33と非常に少ない。丹南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 丹南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,644人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,948床(偏差値59)、高齢者住宅等が696床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,365人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設62、有料老人ホーム40、軽費ホーム57、グループホーム45、サ高住43である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、159人(75歳以上1,000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(丹南医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

丹南医療圏の総人口は、2005年194,247人が、2015年に184,783人と5%減少し、2025年の人口が171,574人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

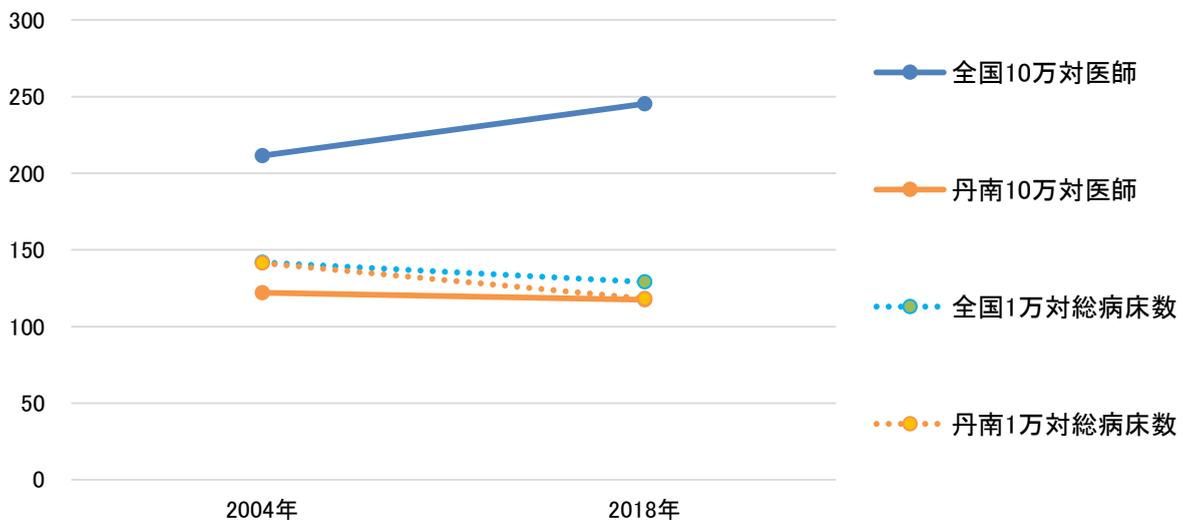
2004年の病院数が23(人口10万人当たり11.8病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2018年に17(人口10万人当たり9.2病院(全国平均6.6)偏差値57)となり、14年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が110(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2018年に109(人口10万人当たり59診療所(全国平均80)偏差値39)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,748床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2018年に2,186床(人口1万人当たり118(全国平均129)偏差値48)と、562床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

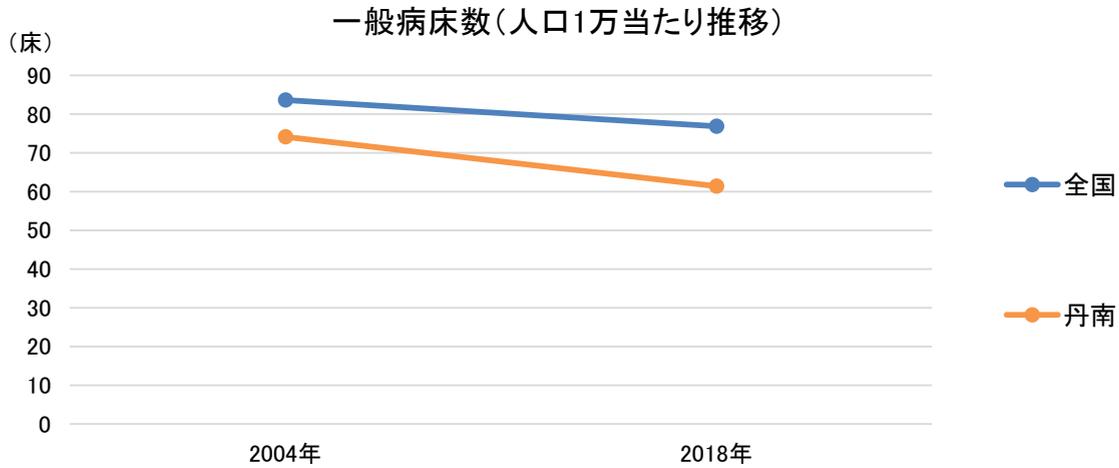
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が237人(人口10万人当たり122人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2018年に217人(人口10万人当たり117人(全国平均245人)偏差値36)と、20人の減少、率にして8%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



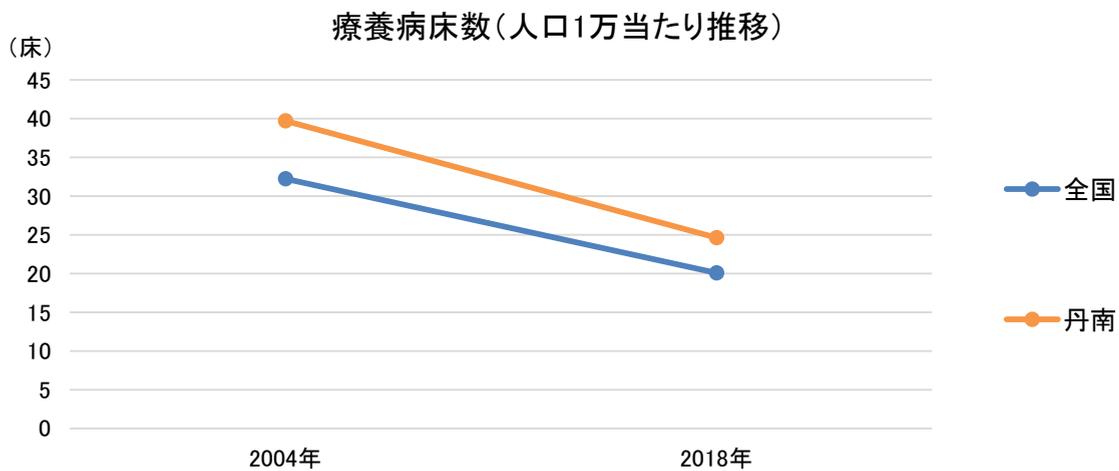
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,440床(人口1万人当たり74(全国平均84)偏差値47)であったが、2018年に1,135床(人口1万人当たり61(全国平均77)偏差値44)と、305床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



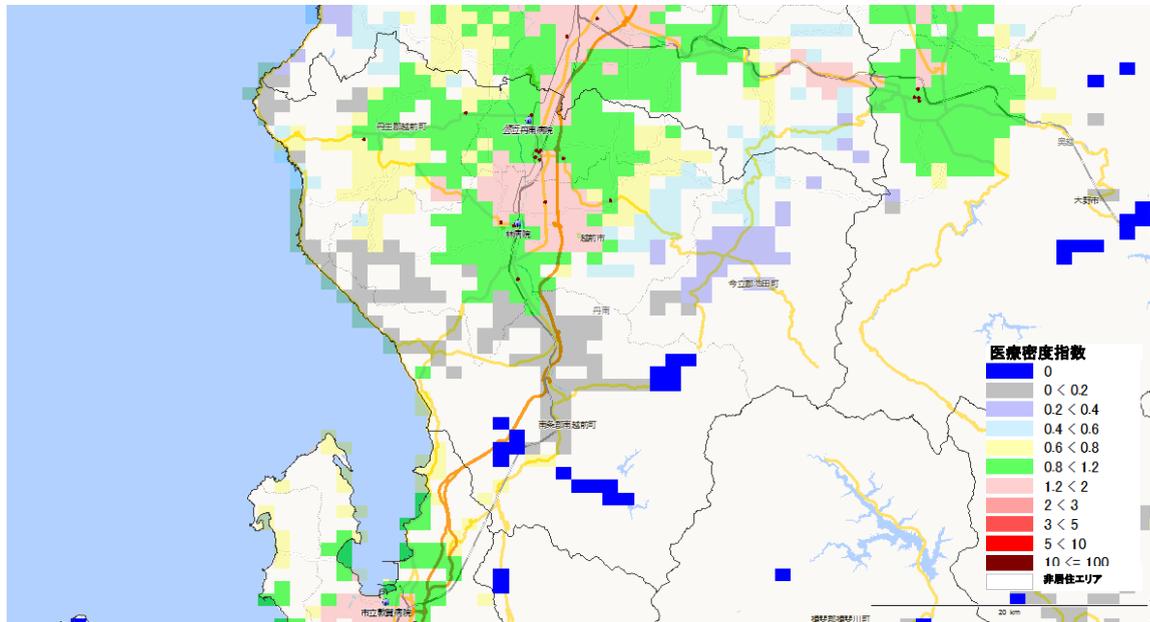
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が884床(75歳以上1,000人当たり40(全国平均32)偏差値54)であったが、2018年に657床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均20)偏差値54)と、227床の減少、率にして26%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



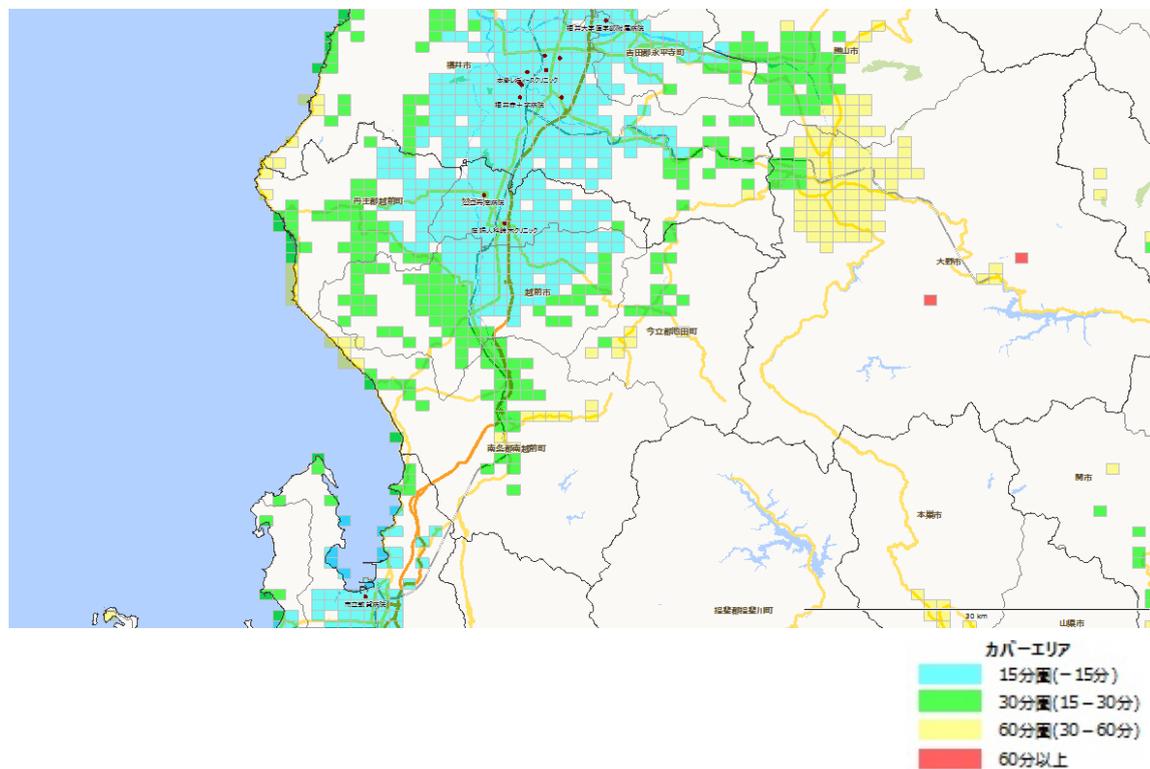
(丹南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表18-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

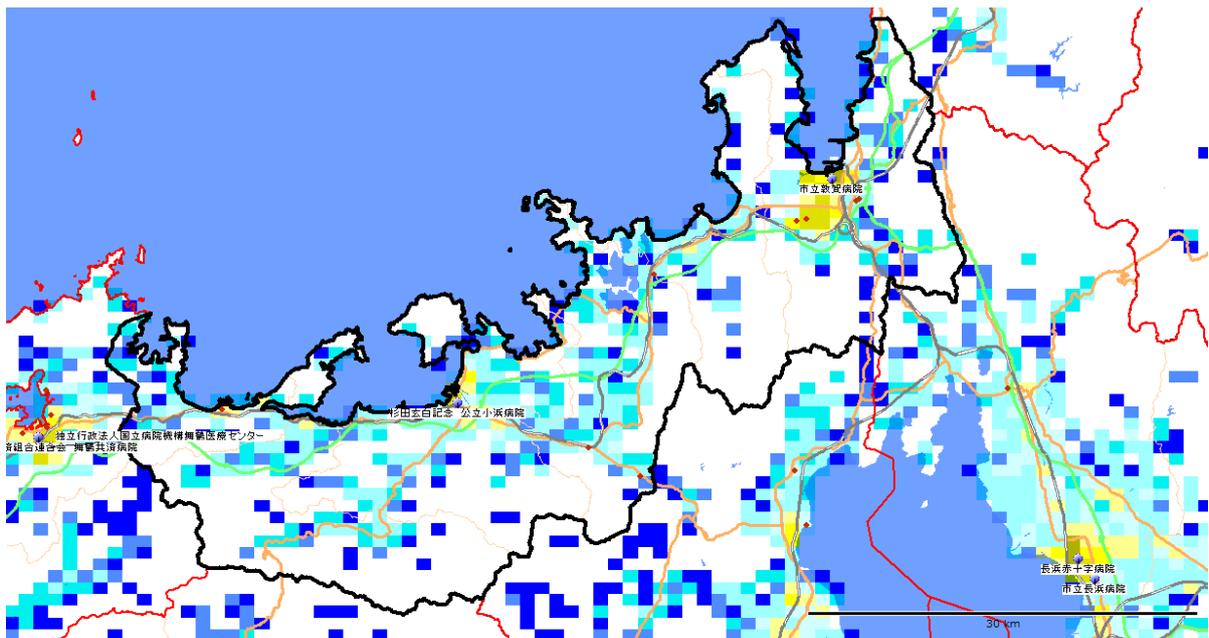


# 18-4. れいなん 嶺南医療圏

構成市区町村 [敦賀市](#) [小浜市](#) [美浜町](#) [高浜町](#)  
[おおい町](#) [若狭町](#)

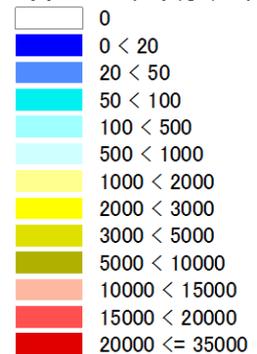
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (嶺南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 嶺南(敦賀市)は、総人口約140千人(2015年)、面積1,100km<sup>2</sup>、人口密度は127人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 嶺南の総人口は2025年に127千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に106千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の21千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には25千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 嶺南の一人当たり医療費(国保)は392千円(偏差値58)、介護給付費は289千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 嶺南の一人当たり急性期医療密度指数は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は1.1で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数43、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。嶺南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 嶺南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,838人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,442床(偏差値55)、高齢者住宅等が396床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,781人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設50、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住41である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値77と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、232人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (嶺南医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

嶺南医療圏の総人口は、2005年149,234人が、2015年に139,927人と6%減少し、2025年の人口が126,924人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

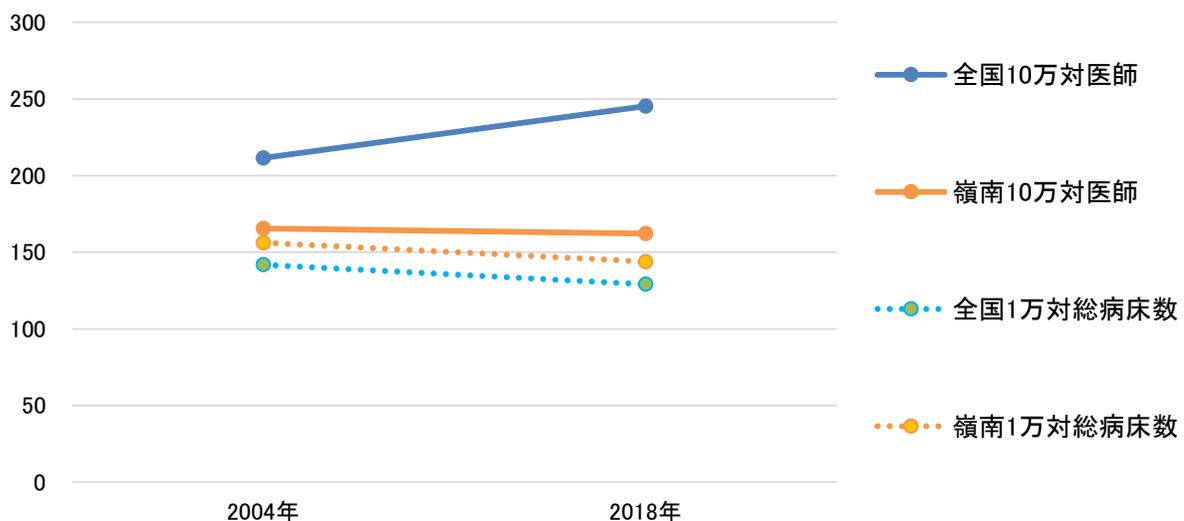
2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.4病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2018年に10(人口10万人当たり7.1病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、14年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が100(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2018年に101(人口10万人当たり72診療所(全国平均80)偏差値46)と、1診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,331床(人口1万人当たり156(全国平均142)偏差値53)であったが、2018年に2,013床(人口1万人当たり144(全国平均129)偏差値53)と、318床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

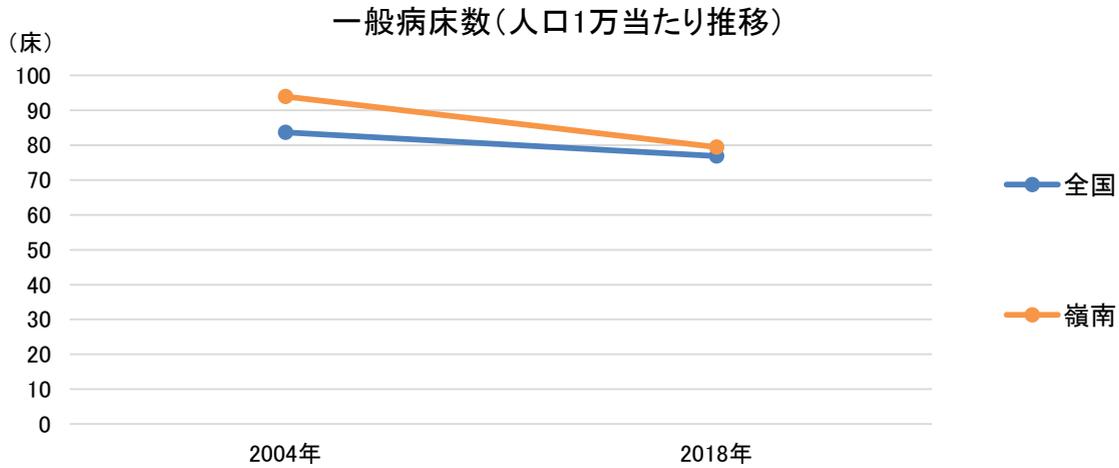
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が247人(人口10万人当たり166人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に227人(人口10万人当たり162人(全国平均245人)偏差値41)と、20人の減少、率にして8%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



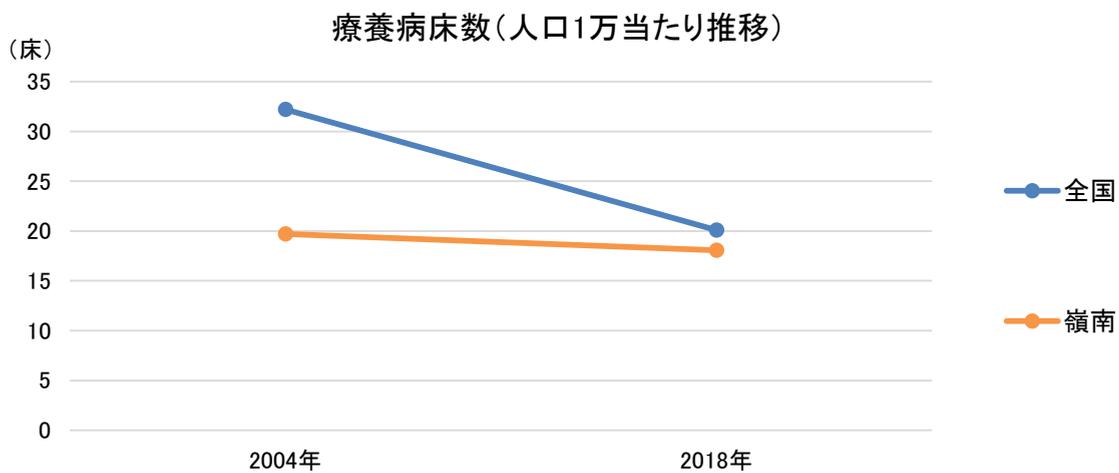
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,402床(人口1万人当たり94(全国平均84)偏差値54)であったが、2018年に1,111床(人口1万人当たり79(全国平均77)偏差値51)と、291床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



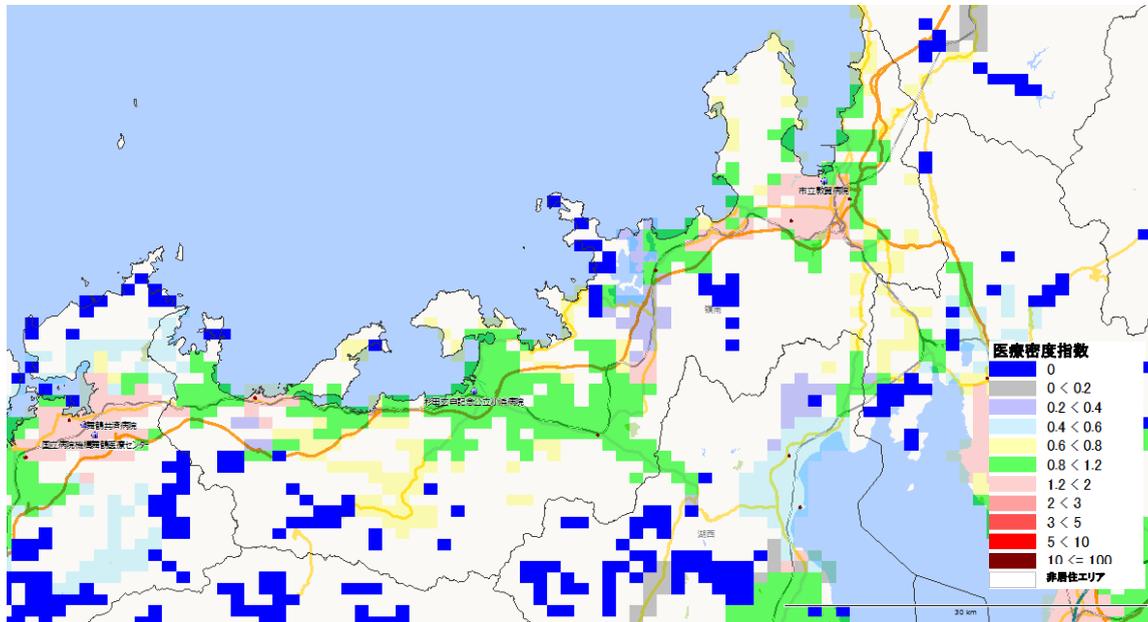
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が356床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2018年に386床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、30床の増加、率にして8%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



## (嶺南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表18-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

